

みなさんからの素敵な
情報を待ってます！

自分たちの手で公園をきれいに スポーツ少年団奉仕活動



各種スポーツ団体が構成されているスポーツ少年団本部主催で、3月1日、白石川緑地公園で清掃奉仕活動を行いました。

参加者は20団体から約350名。各団体から新聞紙や缶・びん類などのリサイクル品を分別搬入したり、公園内の清掃を行いました。

公園内から回収したごみは、空き缶やペットボトル、タバコの吸い殻など、ごみ袋21袋分にもなりました。

おばあちゃんたちをご招待 大鷹沢保育園で「ひなまつり会」



3月3日、大鷹沢保育園でひなまつり会が開かれ、園児のおばあさんや、大鷹沢地区の民生委員さんたち22人が招待されました。

園児手づくりのひな飾りや、ひな人形が飾られた会場で、園児たちが歌あそびやソーラン節の踊りを披露したり、おばあさんたちと「春よこい」をいっしょに歌いました。

また、英会話に挑戦したり、民生委員さんが焼いて、園児たちが飾り付けたホットケーキをみんなでいただいたりと、楽しい時間を過ごしていました。

小さな親切運動がある。発端は一九六三年、東大の第八十九回卒業式。茅誠司先生

たら、手伝ってあげましょう(第七条)。他人からの親切を心から受け入れ、ありが

が総長告示の中で、「例えば学生の仲間が道路を汚している。それをとがめる事もしていない。も

とつと言いましよう(第三条)。」などがある。そのモデルと言っても過言ではない事実である。

川井市長の せせらぎトーク

■小さな親切■

山元町に住む清野ヨシコさんというお年寄りから手紙を頂いた。二月十七日夕方五時頃、障害者用のセニアカーに乗り犬と散歩をしていたら、急に犬が車を引っ張り溝に落ちてしまったらしい。以後、原文の通り記してみる。

『サテ、困ったと思案していた時に、通りがかった自動車がUターンをして声をかけて下さいました。』とある。

晴れ晴れとした気持ちで、清野さんに葉書を書いた。『わざわざ丁寧なお礼状を頂き恐縮して居ります。48-41の車の方のような小さな親切がどんなに世の中を暖

力を合わせて、セニアカーを道路に引き上げて下さいました。犬は吠えるし、ホッとしていたしでお名前を伺うことができない。慌てて「どちらの方ですか。」「白石です。もう犬を連れてはダメですよ。犬は馬鹿力があるからね。」と、私に優しく論じて発車してしまいました。せめて、車のナンバーだけでも見ましたが、老眼には大きい数字だけ「48-41」と見えました。』さらに、『この感謝の気持ちを御礼申し上げます。』今朝二月十八日山元町の森久一町長様にお電話をして、白石市の市長様のお名前を教わりました。『年寄りの冷や水はまだ、これもできる、あれもと老いを認めることから逃げていた自分に心底より恥じ入りました。白石の方、どうもありがとうございます。』とある。

かくすることか。そして清野さんのように、それを感謝の気持ちで受け止める方が多くなれば、冷え切った今の世に明るい灯がともることでしょう。中年のご夫妻のお名前がわからないものかと思つて、白石警察署の署長に問い合わせましたが48-41だけでは難しいようです。白石の広報誌でも、清野さんと白石のご夫妻のことを市民にお知らせしようと考えます。』

わざわざUターンしてセニアカーを引上げて下さった白石市民のお二人に、私からもお礼申します。お二人はご自分の善行をひけらかすよう得意にそわないかも知れませんが、清野ヨシコさんにご返事をやっていただけではないでしょうか。清野さんの住所は以下のとおりです。

千九八九-二二〇六
宮城県亘理郡山元町大平字畑中二十三
清野ヨシコ様
(住所の掲載についてはご本人の承諾を得ております)

※川井市長の似顔絵を福祉作業所やまぶき園利用者の村上高広さんが描いてくださいました。